

群馬の土地改良

No.242 平成29年5月31日

嬭恋村(キャベツ畑と浅間山)

新会長挨拶

群馬県土地改良事業団体連合会
会長 熊川 栄
(嬭恋村長)



平素より会員並びに関係諸団体の皆様には、本会の運営はもとより農業農村整備事業の推進につきまして格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび安楽岡 一雄前会長の急逝に伴い、去る2月17日の理事会において理事の互選により、第8代会長に就任致しましたのでご挨拶申し上げます。今後は故安楽岡前会長の遺志を継ぎ、微力ではございますが精一杯努力していく所存でございますので、前会長同様ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、農業・農村を取り巻く環境は、本格的な人口減少社会の到来により、農業従事者の高齢化、農地の荒廃、担い手不足等による営農継続への影響など多くの課題に直面しております。

このような状況の中、国においては昨年新たな「土地改

良長期計画」を閣議決定し、産業施策としての「豊で競争力ある農業」、地域施策としての「美しく活力ある農業」、この土台として「強くてしなやかな農業・農村」を掲げ、各種施策を計画的に推進することが示されました。

県では、農政の基本指針である「群馬県農業農村振興計画」に基づき、「元気で魅力あふれる農業・農村の実現」に向けて、「力強く成長する農業の実現」、「活力と魅力にあふれる農村の創造」、「安心・安全な食料の生産・確保」の3本を柱として、各種施策が総合的に展開されています。

また、農業農村整備においては、地域資源を活かす保全整備と活力ある地域づくりを目指し、「農業水利施設等の計画的な保全管理」や「農地整備による担い手への農地集積の促進」、「ため池の改修・耐震性調査」また、「多面的機能支払交付金の活用」の促進など農村地域における「保全整備」と「協働」を積極的に推進しているところです。

本会といたしましても、国・県の施策に即応した事業展開を図るとともに、貴重な資源である「水」と「土」を守り、育み、食の安全・安心を確保し、群馬県の農業・農村の発展に向けて、これまで培ってきた技術と経験を最大限に活用し、会員の皆様のニーズにしっかりと応えられるよう、役職員一丸となり取り組んで参りますので、より一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



新任の御挨拶

群馬県農政部長 澁谷 喜久

4月の人事異動で農政部長に就任しました澁谷と申します。

群馬県土地改良事業団体連合会会員の皆様には、本県農政の推進に多大な御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本県農業は、豊かな自然や立地条件に恵まれ、地域に根ざした産業として大きな役割を担っておりますが、一方で、担い手の減少や高齢化、グローバル化の進展など、様々な課題に直面しております。

国では、平成28年11月に「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂し、若者たちが希望を持てる「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」を創り上げることとしています。

県では、平成28年4月に県農政の基本指針である「群馬県農業農村振興計画」をスタートさせたところであり、4年計画の2年目となる本年は、目標達成に向けた重要な年になると考えております。

「元気で魅力あふれる農業・農村の実現」を基本目標とし、「力強く成長する農業の実現」、「活力と魅力にあふれる農村の創造」、「安全・安心な食料の生産・確保」の3つの基本施策を柱に、力強い担い手の育成・確保、担い手への農地集積・集約の加速化、農産物のブランド力強化などを通じて、農業の体質強化を図るとともに、農村に活力を取り戻すため、関係者一丸となって各種施策を推進して参ります。

農業農村整備は、これら施策を推進する上で基本となる重要な手段であり、地域農業を牽引する担い手の経営基盤の強化、特色ある産地の育成に加え、農村社会の基盤づくりなどに効果的な事業であります。「ぐんま水土里保全プラン2016」に掲げる「地域資源を活かす保全整備と活力ある地域づくり」を実現するため、ニーズに即した生産基盤の保全・整備や、共同活動による多面的機能の維持・発揮など、地域の実情をしっかりと踏まえつつ、事業の推進と、きめ細かな支援を行う所存です。

また、県では昨年9月、県産農畜産物の認知度向上と販売力強化を図るため、「統一ロゴマーク」を制作致しました。本年度から本格的な利用が始まっており、本県農畜産物の魅力や信頼度が高まることで、農業者の所得向上等につながることを目指し、オール群馬で周知・PRに努めて参りますので、皆様の御協力をお願い致します。

結びに、会員の皆様には本県農政の推進にさらなる御理解と御協力をお願いいたしまして、新任の挨拶とさせていただきます。



(統一ロゴマーク)



新任の御挨拶

群馬県県土整備部長 中島 聡

このたびの人事異動により、群馬県県土整備部長に就任いたしました。

群馬県土地改良事業団体連合会会員の皆様には、平素より本県県土整備行政の推進、とりわけ農業集落排水をはじめとする汚水処理事業の推進にあたり多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度は、県政の新たな羅針盤である「第15次群馬県総合計画」がスタートして2年目を迎えます。

県土整備部としましては、「魅力あふれる群馬」の実現に向け、「県土整備部職員一同心ひとつに力合わせて 県民の命と暮らしを守る」を部の目標に掲げ、「7つの交通軸・公共交通の整備・強化」「防災・減災対策の推進」「ハッ場ダム関連事業の促進」に重点的に取り組みます。

特に、今後、人口減少が急速に進展し、利用者の減少から公共交通の存続が危ぶまれる中、県民の「移動手段の確保」に向け、「公共交通ネットワークの構築」の取り組みを重点的に推進して参ります。

「7つの交通軸の整備・強化」につきましては、物流の効率化や農産物の販路拡大、都市と農山村地域の交流人口の増加による移住促進などを図るため、引き続き、上信自動車道や西毛広域幹線道路などの主軸の整備とともに、インターチェンジや工業団地などを結ぶ交差道路の整備を計画的に推進して参ります。

また、近年、頻発・激甚化する大規模な自然災害に対し、県民の命と暮らしを守るとともに、「安全・安心な群馬県」への民間投資の拡大や移住定住の促進を図るため、ハード・ソフトが一体となった総合的な「防災・減災対策」を強力に推進して参ります。

あわせて、県政の重要課題である「ハッ場ダム」につきましては、平成31年度のダム本体の完成時期を見据え、地域住民の方々が安心して豊かに暮らせるよう、国や町と一体となり生活再建に向けた取り組みを着実に推進して参ります。

さらに、水源県ぐんまとして、「自然環境・生活環境の保全」を実現するため、汚水処理人口普及率の向上に向けた取り組みを積極的に推進して参ります。本年度は「群馬県汚水処理計画」の見直しを予定しています。また、引き続き、群馬県土地改良事業団体連合会並びに会員の皆様と連携して、下水道や農業集落排水及び合併浄化槽などの効率的、効果的な整備による、汚水処理事業の推進に取り組んで参りたいと考えております。

結びに、会員皆様の御健勝と益々の御発展を祈念いたしますとともに、県土整備行政への一層の御支援と御協力をお願い申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

平成29年度農業農村整備事業予算について

行政の動き（国）

農林水産関係予算の総額は、前年度当初より20億円減の2兆3,071億円となりました。

農業農村整備事業予算では、関連対策も含めて4,020億円（前年度比200億円増）が計上され、28年度第2次補正予算と合わせると5,772億円となり、大幅削減される前の21年度当初予算の水準まで回復しました。

農業農村整備対策予算の概要

（単位：億円）

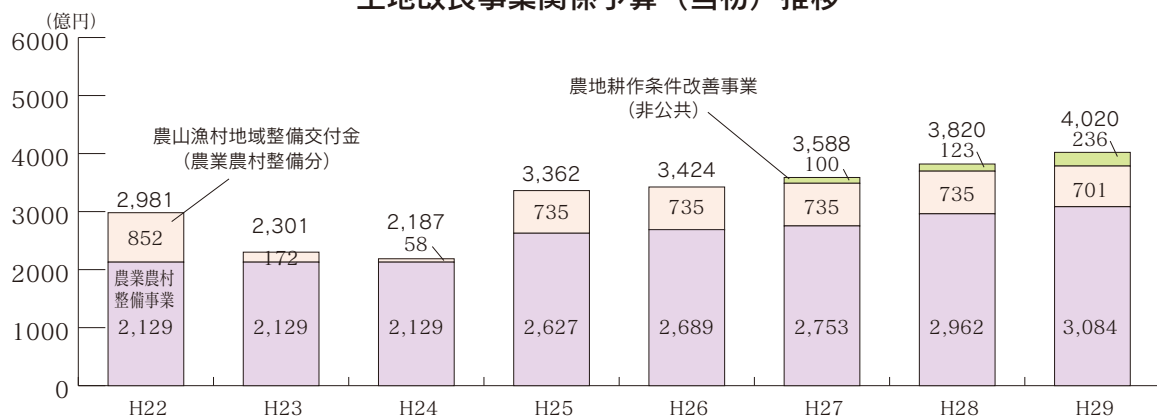
区 分	H28年度当初予算	H29年度概算決定	対前年度比（％）
農業農村整備事業	2,962	3,084	104.1
農山漁村地域整備交付金 （農業農村整備分）	735	701	95.3
農地耕作条件改善事業（非公共）	123	236	192.0
計	3,820	4,020	105.2

（単位：億円）

区 分	H28年度当初予算	H29年度概算決定	対前年度比（％）
国営かんがい排水	1,179	1,186	100.6
国営農地再編整備	176	197	111.5
国営総合農地防災	262	262	99.8
直轄地すべり	15	12	78.1
水資源開発	70	73	103.5
農業競争力強化基盤整備	500	580	116.0
農村地域防災減災	508	508	100.1
土地改良施設管理	156	156	100.3
その他	96	111	115.8
計	2,962	3,084	104.1

※計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

土地改良事業関係予算（当初）推移



ぐんま水土里保全プラン2016について

平成29年度農業農村整備事業当初予算

行政の動き（県）

ぐんま水土里保全プラン2016は、県農政の基本方針となる「群馬県農業農村振興計画2016-2019」の基本目標である「元気で魅力あふれる農業・農村の実現」に向けて、国の農業・農村施策との整合を図りつつ、本県の農業農村整備の方向性を示す指針として位置付けられています。

本プランでは、持続可能な「力強い農業」の実現と、地域の「協働による保全活動」を一層推進し、地域の活力を高めるとともに、「食料の安定的な供給」と「多面的機能を維持・発揮する農業農村」に向け、農業農村の中長期的な将来を見据えた「水」、「土」、「里」の保全整備と、併せて、地域における「協働」を推進し、農地や農業用水などの地域資源を将来へ引き継ぐことを目指しています。

また、本プランは、今後の10年先を見据え、平成31年度を目標とする4カ年計画（平成28年度～平成31年度）としています。

農政部当初予算 20,266,677千円（前年比97.4%）
〔県予算の2.8%〕

重 点 事 項

- 力強く成長する農業の実現
- 活力と魅力あふれる農村の創造
- 安全・安心な食料の生産・確保

農村整備課 当初予算

8,490,377千円（前年比99.6%）

〔農政部予算の41.9%〕

◇補助公共事業	5,405,370千円	（対前年比99.2%）
◇単独公共事業	760,000千円	（対前年比100.0%）
◇一般事業	172,618千円	（対前年比107.2%）
◇その他（義務的経費）	2,152,389千円	（対前年比99.9%）

ぐんま水土里保全プラン 2016

『水』の保全整備 1,806,091千円

- ☐ 農業水利施設の保全対策
- ☐ 土地改良区（施設管理者）の体制強化

『土』の保全整備 4,385,607千円

- ☐ 担い手の育成・確保のための計画策定
- ☐ 農業生産性を高める基盤整備
- ☐ 地域ニーズに即した基盤整備

『里』の保全整備 1,133,860千円

- ☐ 災害に強い農村づくり
- ☐ 中山間地域の振興

協働 828,077千円

- ☐ 農地維持・資源向上

※記載されている金額は当初予算額となります。

はばたけ群馬・県土整備プランの実現に向けて

平成29年度県土整備部における農業農村整備関連当初予算

行政の動き（県）

「はばたけ群馬・県土整備プラン」（以下、「県土整備プラン」という。）は、群馬が未来に向けて大きくはばたいていくために、平成20年度から平成29年度までの10年間「ぐんまの社会資本整備はどのようなやり方で、何を整備していけばよいか」という県の指針として、平成20年3月に策定されました。

計画期間の中間年を迎えた今、東日本大震災の発生など大きく変化する社会・経済・自然環境への対応を図るため、計画期間を5年間スライドさせ、平成25年度から平成34年度までの新しい県土整備プランを策定されたものです。

■元気「もっと、県土に活力を」

「7つの交通軸」の整備を推進するとともに、高速インターアクセス道路や主要な交差道路、軸間連絡道路の整備など「軸の強化」を図り、県民生活の利便性向上と経済・産業活動の基盤を強化します。

○道路整備（道路整備課）

地域の特性や実情に応じ、きめ細やかな道路整備を推進し、「地域活性化のための道路整備」を目指します。

（単位：千円）

項目	平成28年度予算額	平成29年度予算額	対前年比
広域農道整備	120,000	100,000	83.3%

■環境「もっと、良好な環境を」

水源地ぐんまの水環境を守り、良質な水資源を安定的に供給するため、河川等公共水域の水質を保全する污水处理施設整備を推進します。また、住環境改善に向けて、自動車利用から他の交通手段への転換など県民の良好な生活環境を確保します。

○農業集落排水（下水環境課）

下水道や農業集落排水、合併処理浄化槽などの污水处理施設は、県民の日常生活や産業活動に伴い発生する汚水を処理するものであり、水源地ぐんまに相応しい良好な水環境を守るために污水处理施設の整備を進めます。

（単位：千円）

項目	平成28年度予算額	平成29年度予算額	対前年比
農業集落排水	593,780	360,860	60.8%

平成28年度農業農村整備部会・研究会及び講演会

平成29年2月1日(水)、「群馬建設会館」において、『農業農村整備部会・研究会及び講演会』が開催されました。

部会では、熊川部会長による挨拶があり、来賓として、群馬県農政部 片山農村整備課長、内藤水利保全対策主監が出席し、議題「平成27年度事業報告について」が審議され承認されました。次に、「役員補欠選任について」審議され、本会の小林理事が推挙され副部会長に就任しました。

また、県の情勢報告として、「農業農村整備事業をめぐる情勢について」片山農村整備課長から説明がありました。

その後、上毛新聞社 客員論説委員 武藤 洋一様による「マスコミ交際法～記者はこんな人」について講演会が開催されました。

約150名余りの参加者は熱心に拝聴されました。



平成28年度「第3回理事会」



平成29年2月17日(金)、本会において、平成28年度「第3回理事会」を開催しました。

熊川副会長の挨拶に続き、群馬県農政部 片山農村整備課長から挨拶をいただきました。

理事会は、理事11名、監事2名、県1名の出席のもと行い、理事会決定議案及び第60回総会提出議案はすべて、原案のとおり議決されました。

その後、理事互選会が行われ、会長に熊川副会長理事、副会長に山本理事が選任されました。

群馬県土地改良事業団体連合会

第60回通常総会

平成29年3月17日(金)、「群馬建設会館」において、群馬県土地改良事業団体連合会第60回通常総会並びに第51回土地改良功労者等表彰式を91会員の出席と、ご来賓を迎え、盛大に開催しました。

栗林副会長による開会の後、熊川会長から、国が目指す方向の実現に向け、県・市町村・土地改良区と連携して、積極的に貢献をしていくことが必要であり、本会の役割や農業・農村を守り、発展させていくことの重要性・必要性についても、広く県民の皆様にご理解、ご協力いただき、役職員が一丸となり、この難局を乗り越えていきたい旨の挨拶がありました。

続いて表彰式に移り、感謝状2名、功労者8名、優良職員5名に対し、熊川会長から感謝状及び表彰状を贈呈しました。

受賞者代表として天狗岩堰土地改良区前理事長 都丸耕治様が謝辞を述べられました。

その後、来賓の群馬県知事、群馬県議会副議長、関東農政局長から祝辞をいただくとともに、ご臨席いただいた来賓の方々の紹介を行いました。



祝電披露の後、中村堰土地改良区理事長 塚越秀行様が議長に選出され議事に入りました。

議案第14号では役員補欠選任の上程があり、選考委員会が開かれ、2名の新役員が選任されました。

提出された議案は、全て承認・議決決定されました。

また、農業農村整備の決議案を若田部常務理事が読み上げ、第60回通常総会の決議として決定したい旨を告げ、承認されました。

本会新役員の紹介

平成29年3月17日(金)に開催された第60回通常総会において役員の補欠選任が行われ、下記の通り新役員が選任されました。

任期：平成30年3月31日まで

役 職 名	氏 名	その他の役職名
理 事	大 山 善 弘	長野堰土地改良区理事長
監 事	荒 山 江知郎	邑楽土地改良区理事長

群馬県土地改良事業団体連合会

第51回土地改良功労者等表彰名簿

日時 平成29年 3月17日(金)

場所 群馬建設会館

一 感謝状

(敬称略、順不同)

氏 名	所 属 ・ 役 職 名
岩 倉 進	中部農業事務所 農村整備課次長
礪 田 亨	利根沼田農業事務所 農村整備課長
計 2 名	

二 表彰状

1 土地改良事業 功労者

支部名	氏 名	所 属 ・ 役 職 名
前 橋	都 丸 耕 治	天狗岩堰土地改良区 前理事長
	八 田 稔	八坂堰土地改良区 副理事長
高 崎	瀧 野 仁	群馬中部土地改良区 監事
	塩 谷 喜 好	松義台地土地改良区 前理事長
沼 田	本 多 貞 良	赤谷川沿岸土地改良区 理事長
吾 妻	山 口 正 美	岡崎用水土地改良区 副理事長
太 田	前 原 豊	岡登堰土地改良区 理事
	橘 内 文 夫	大間々用水土地改良区 理事
	計 8 名	

2 優良職員 (市町村・土地改良区)

区 分	氏 名	所 属 ・ 役 職 名
前 橋	関 根 正 一	伊勢崎市 経済部 土地改良課 課長
	町 田 雅 義	広瀬桃木両用水土地改良区 係長
沼 田	大 竹 光	沼田市 経済部 農林課 課長補佐
	倉 澤 正 志	赤城西麓土地改良区 総務課 課長補佐
太 田	高 橋 広 喜	大間々用水土地改良区 事務局長代行
	計 5 名	

3 連合会職員

区 分	氏 名	所 属 ・ 役 職 名
退 職 者	池 上 貴 裕	事務局長
	丸 橋 昇	調査・換地課長
	左 部 信 二	中西部事業所長
25年 勤 続	松 本 賢 一	東部事業所 補佐
	井 野 英 明	東部事業所 係長
	計 5 名	

全国土地改良事業団体連合会 第59回通常総会



平成29年3月24日(金)、全国土地改良事業団体連合会の通常総会が東京都千代田区「都市センターホテル」において開催されました。

総会は、高貝副会長の挨拶で始まり、香川県土地改良事業団体連合会 大山会長が議長に選出され、議案は全て質疑を経て原案どおり承認可決されました。

また、理事の補欠選任では新たに2名が選任されました。

最後に決議文を総会の名において採決し総会は終了しました。

全国水土里ネット表彰式

全国土地改良事業団体連合会第59回通常総会終了後、会場を砂防会館「シェーンバッハ・サボー」に移し、第58回全国土地改良功労者表彰・農業農村整備優良地区コンクール表彰・21世紀土地改良区創造運動表彰の表彰式が盛大に開催されました。

本県からは、次の方々が表彰の栄誉を賜りました。

【全国土地改良功労者等表彰】

○団体表彰

銅章 松義台地土地改良区



川嶋課長 松本前理事長 川端事務局長 須田事務局長 須藤理事長

○個人表彰

松 本 功 (利根加用水土地改良区 前理事長)
須 田 雅 行 (広瀬桃木両用水土地改良区 事務局長)
川 端 孝 (赤城西麓土地改良区 事務局長)
川 嶋 隆 (群馬県土地改良事業団体連合会 技術課長)

平成28年度多面的機能支払優良活動表彰式

平成29年3月24日(金)、「群馬県庁 正庁の間」において、県内の活動組織や関係者が出席し、「平成28年度多面的機能支払優良活動表彰式」が開催されました。

表彰式では、「多面的機能支払優良活動」に取り組む活動組織のうち、他の模範となる優れた活動を行った7組織に対して、群馬県知事からの表彰状が授与されました。

表彰された活動組織

荒子町環境保全会	(前橋市)
しんとうグリーンネット10	(榛東村)
下栗須地域環境保全協議会	(藤岡市)
鎌原みずほの会	(嬭恋村)
滝合環境保全委員会	(沼田市)
西長岡みどり保全会	(太田市)
矢島地区資源保全管理協議会	(明和町)



平成28年度群馬県水土里保全協議会 通常総会

平成29年3月24日(金)、「群馬県庁」において、平成28年度群馬県水土里保全協議会通常総会が開催されました。

総会には、群馬県、市町村及び関係団体が出席し、宮崎会長（群馬県農政部長）の挨拶の後、議案第1号から議案第6号まで審議が行われ、全て承認・決定されました。

平成28年度ぐんま水土里保全プラン2016推進事例発表会

平成29年1月25日(水)、「群馬会館」において、ぐんま水土里保全プランの目標達成に向け、平成28年度ぐんま水土里保全プラン推進事例発表会が開催されました。

県・市町村、土地改良区、関係団体が参加し、各地域での推進事例の発表に熱心に、耳を傾けていました。

また、「里」の保全整備のなかで、「農業集落排水施設再編計画の推進事例について」本会技術課の関係者が発表を行いました。

- ◆「水」の保全整備推進事例 5事例
- ◆「土」の保全整備推進事例 5事例
- ◆「里」の保全整備推進事例 3事例
- ◆協働活動による活力ある地域づくりの推進事例 1事例

お知らせ

平成29年度 群馬県関係部署職員配置

平成29年度の群馬県の農業農村整備事業関係部署の職員は、次のとおりです。

(平成29年4月1日現在)

農業農村整備事業関係

※◎は各係の長

■農政部・農村整備課

課長	片山 茂	水利保全対策主監	内藤 和明	次長(事)	富澤 貞夫	次長(技)	田口 敦
管理指導係		企画係		計画評価係		技術調査係	
補佐◎	横田 由友	補佐◎	茂木 敏彦	係長	綾部 賢二	補佐◎	澤下 勲
主幹	黒澤 由佳	主幹	樹下 紀之	主幹	小林 学	主幹	根津 正伸
主幹	田宮 妙子	主幹	永井 誠	主幹	高橋 博光	副主幹	大塚 勝基
副主幹	福島 敏子					主任	塩野 雅義
主事	伊藤 爽気						

施設保全係

係長	渡邊 玲
主幹	小笠原早苗
主幹	伊藤 義貴

整備係

補佐◎	稲木 一秀
主幹	三木 昌憲
副主幹	浦野 和幸
技師	篠原 樹

中山間振興係

補佐◎	塩谷 玲子
主幹	日景 玲
主事	伊藤 早紀

宮城派遣

主任	齋田 圭太
技師	加邊 文郎

■中部農業事務所・農村整備課

課長	中嶋 三樹	次長(事)	石井 善実	次長(技)	石沢 隆之
管理係		計画調整係		整備係	
補佐◎	武井 重樹	補佐◎	勝又 亮一	補佐◎	齊藤 健司
主幹(係長)	小暮 晃	主任	佐々木隆之	主幹	阿部 明夫
主任	玉谷 初	技師	青木 愛	主幹	田村 篤史
嘱託	中村由佳理			技師	小材 佳之
				主幹専門員	岩倉 進

群馬用水整備係

係長	高山 貴広
主幹	篠原 宏昭
技師	中島安香里
技師	青木 拓也

■中部農業事務所・渋川農村整備センター

センター長	吉田 誠	次長(事)	金井 秀泰	次長(技)	篠原 孝幸
管理係		渋川相馬整備係		赤城西麓整備係	
係長	小林 清人	係長	大淵 時男	係長	島村 和政
主幹(係長)	佐藤 宏	主幹	剣持 篤志	主幹	小河原武志
主幹	塩野 里美	主幹	阿左見長嗣	主幹	角田 信吉
嘱託	松井伊津子	主任	飯野 徳子	主任	飯塚 聡紀

■西部農業事務所・農村整備課

課長	女屋 一之	次長(事)	深澤隆太郎	次長(技)	中野 俊之
管理係		計画調整係		整備第一係	
補佐◎	青山 勝	補佐◎	中林 静夫	補佐◎	阿野 光志
主幹	森 澄子	主幹	唐澤 崇弘	主幹	光安 香里
嘱託	堂野まさみ	技師	井上 貴仁	主幹	岡田 和洋
		技師	中嶋 周	主任	中沢 邦彦
		嘱託	石橋 良正		
				整備第二係	
				係長	小林 幹雄
				主幹	福田 良和
				主幹	中島 伸也
				技師	新津 未来

■吾妻農業事務所・農村整備課

課長 中野 裕

管理係

次長◎ 永井 伸之
主幹 池田 健次
副主幹 南雲 一哉

計画調整係

係長 大淵 陽一
主幹 村上 貴之
技師 剣持 怜
嘱託(兼) 一場 秋雄

整備係

次長◎ 油井 祐紀
主幹 安藤 敏
技師 肥留川 惇

■利根沼田農業事務所・農村整備課

課長 野口 直行

管理係

次長◎ 森下佐太夫
主幹 原 保弘
主幹 飯塚由美子
副主幹 山口 利恵
嘱託 一場 秋雄
嘱託 武井理恵子

計画調整係

補佐◎ 高橋 薫
主任 綿貫 智志
技師 阿部 椋汰

整備係

次長◎ 竹内 厚
主幹 加嶋 栄樹
副主幹 山口 公男

■東部農業事務所・農村整備課

課長 中村 均

管理係

次長◎ 布施川義行
主幹 堀里 資輝
主幹 柴崎 恵利
副主幹 堀込 素宏
嘱託 笠松めぐみ

次長(技) 中沢 昇

計画調整係

係長 松本 裕弘
副主幹 会田 綾子
主任 黒岩 敏彦
嘱託 石原 進一

整備第一係

補佐◎ 永島 豊
主幹 田村 優顕
副主幹 岡庭 和昭

整備第二係

係長 田代 宗彦
主幹 永井 聡
技師 戸谷 翼

■東部農業事務所・館林農村整備センター

センター長 播磨 幸三

次長(事) 小柏 春光

管理整備係

係長 中島 洋
主幹 横堀 裕
主幹 大門 剛
主幹 吉田 英二
主幹 星野 知宏
嘱託 仁木 敏代

基幹農道事業関係

■県土整備部・道路整備課

課長 若田部純一

県道係

係長(補佐) 石坂 幸喜
主任 山口 紘史

次長(事) 氏家 進

主幹 山本 和弘

次長(技) 松井 紀

主幹 星野 勝

副主幹 金井 崇治

農業集落排水事業関係

■県土整備部・下水環境課

課長(技) 清水 昭芳

農集排・浄化槽係

係長(技) 吉井 正二

調整主監(技) 松井 秀夫

主幹(技) 住谷 宗一

次長(事)
下水道管理係長 岸 亮

次長(技) 須田 至郎

安楽岡 一雄 氏 ご逝去

安楽岡一雄様におかれましては、去る平成29年2月12日にご逝去され、平成29年4月15日(土)、「館林市文化会館大ホール」において、「館林市葬」が開かれました。

群馬県議会議員を経て、平成19年、館林市長に初当選し、三期務めました。また、平成20年3月から本会理事に選任され、平成26年7月から会長に就任し、県内の農業農村整備事業推進に多大な貢献をされました。

安楽岡様の業績をたたえ、生前の面影をしのびつつ、心からご冥福をお祈りいたします。



平成29年度 本会人事異動

平成29年度、人事異動は次のとおりです。

(平成29年4月1日付)

新所属および職名		旧所属および職名	氏 名	備考
<本 所>				
	事務局長	事務局次長（総務課長兼務）	小 澤 俊 一	昇任
	事務局次長（総務課長兼務）	技術課 課長	川 嶋 隆	昇任
技術課				
	課長	技術課 補佐	吉 田 悟	昇任
	補佐	利根・吾妻事業所 補佐	山 本 精 吾	
	係長	利根・吾妻事業所 係長	中 川 勲	
調査・換地課				
	課長	調査・換地課 補佐	吉 澤 茂	昇任
	補佐	調査・換地課 係長	内 山 剛 直	昇任
	係長	中西部事業所 係長	遠 藤 元 伸	
管理課				
	技師	中西部事業所 技師	郷 田 佑	
<事業所>				
中西部事業所				
	所長	東部事業所 所長	田 中 由 人	
	補佐	技術課 係長	林 豊	昇任
	技師	調査・換地課 技師	津久井 駿 介	
東部事業所				
	所長	中西部事業所 補佐	竹 田 祐 之	昇任
利根・吾妻事業所				
	補佐	東部事業所 補佐	松 本 賢 一	
	係長	管理課 係長	川 島 幸 治	

◆退 職◆

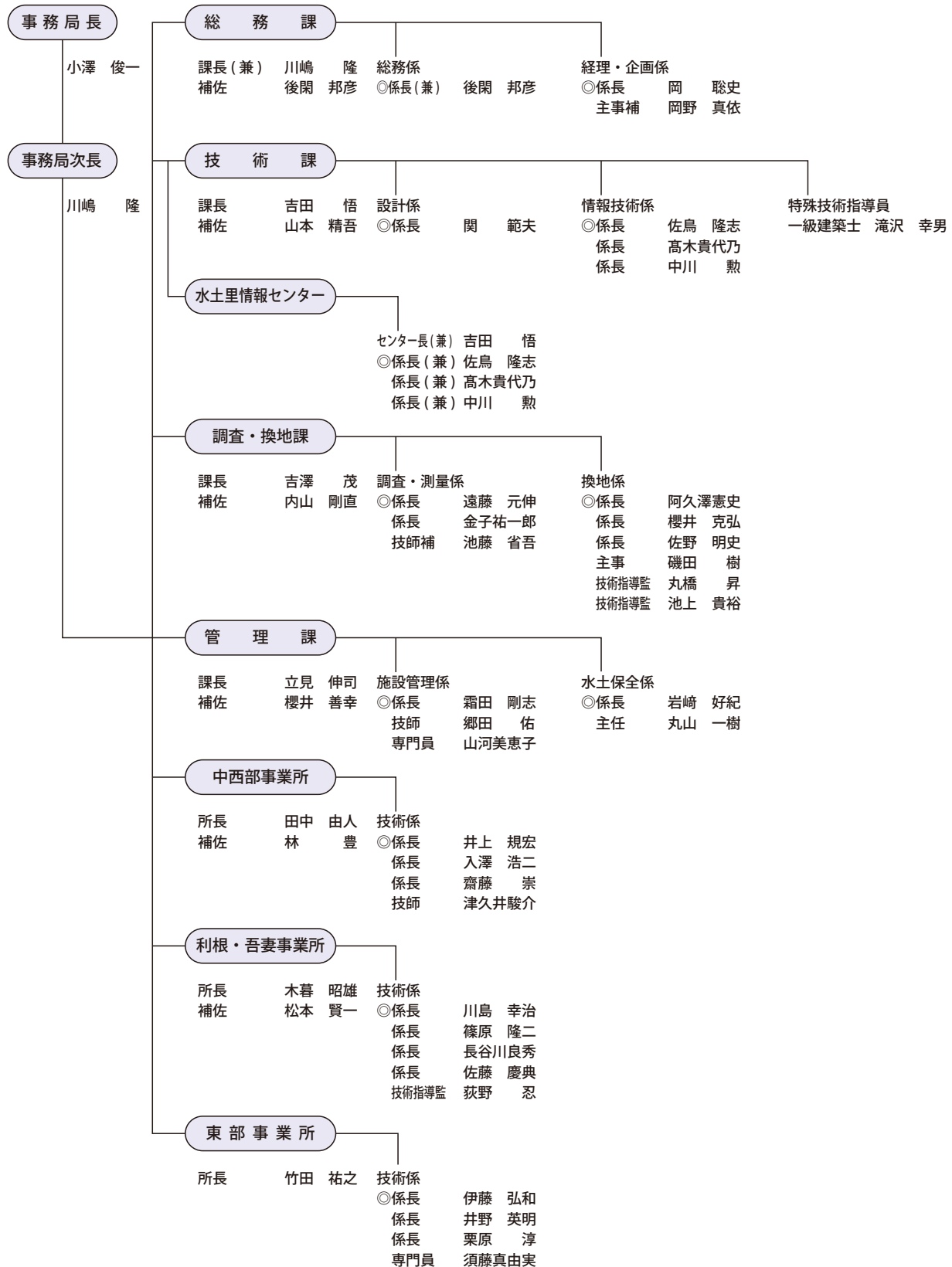
(平成29年3月31日付)

氏 名	所属・役職名	氏 名	所属・役職名
池 上 貴 裕	事務局長	丸 橋 昇	調査・換地課 課長
左 部 信 二	中西部事業所 所長	岡 部 秀 昭	利根・吾妻事業所 技師

群馬県土地改良事業団体連合会事務局機構図

(平成29年4月1日現在)

◎はチーフ係長



平成29年度年間予定

平成29年度の主な会議・行事の予定は、下記のとおりです。

開催日	会議・行事名
平成29年 6月19日	平成29年度『第1回監事会及び監査』
7月4日	平成29年度群馬県土地改良施設管理運営体制強化委員会
//	平成29年度群馬県受益農地管理強化委員会
7月21日	群馬県農業集落排水事業連絡協議会第27回通常総会
7月25日	利根川水系農業水利協議会群馬県支部委員会並びに第19回通常総会
7月27日	平成29年度『第1回理事会』
7月27・28日	平成29年度換地計画実務研修会
10月25・26日	第40回全国土地改良大会 in 静岡
11月7・8日	平成29年度土地改良区等役職員研修会
11月	平成29年度群馬県土地改良事業団体連合会農業農村整備部会・研究会及び講演会
//	平成29年度『第2回理事会』
12月	平成29年度『第2回監事会及び監査』
平成30年 2月	平成29年度『第3回理事会』
3月	群馬県土地改良事業団体連合会第61回通常総会並びに第52回土地改良功労者等表彰式

※本会主催については、緑色で表示しています。

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2017 作品募集

テーマ「新発見！ぼくのわたしのふるさと」

主 催 全国水土里ネット・都道府県水土里ネット

応募資格 小学生以下

応募方法 団体応募：参加登録を行った団体を通じた応募
 一般応募：案内チラシ及び全国水土里ネットホームページ〈<http://www.inakajin.or.jp>〉掲載の応募用紙にて直接応募

応募締切 2017年9月12日(火)



水土里ネット 群馬

群馬県土地改良事業団体連合会
URL:<http://www.kakasi.or.jp/>本 所 〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4
TEL 027-251-4105 fax 027-251-4139中西部事業所 〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4
TEL 027-251-4106 fax 027-251-4222利根・吾妻事業所 〒378-0031 群馬県沼田市薄根町3507-1
TEL 0278-23-2161 fax 0278-23-2180東 部 事 業 所 〒370-0392 群馬県太田市新田金井町29
(新田庁舎内)
TEL 0276-55-6185 fax 0276-55-6186夢ふくらまそう・未来はぐくもう
ぐんまの農業農村整備